

気候変動に対する 緩和策・ 適応策

気候変動は世界的にさまざまな影響を引き起こしており、毎年大規模な気象災害が頻発するとともに、気温上昇による熱中症の増加など、多くの悪影響が報告されています。気候変動には、緩和策と適応策の両面から対応を進めていくことが必要となっており、UR都市機構においてもさまざまな対応を実施しています。

>>> 次ページから始まる活動報告の中で、緩和策・適応策の該当事例に

緩和策

適応策

マークをつけています。

緩和策

気候変動を引き起こす原因となるCO₂排出量の削減やCO₂吸収源（樹木等）の増加を図ることを言います。

UR都市機構が実施している緩和策の例



CO₂排出量の削減

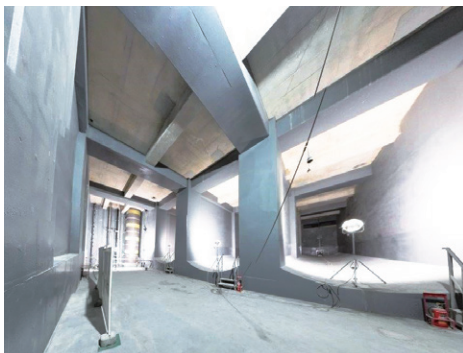
LED照明の導入→P.22



CO₂の吸収

既存樹木の有効活用→P.34

UR都市機構が実施している適応策の例



雨水流出抑制

渋谷駅東口雨水貯留槽の整備→P.40



事前防災

防災意識向上イベントの開催→P.41

適応策

気候変動による悪影響にあらかじめ備えておくことで、影響を回避・軽減することを言います。